

自然農法歳時記 No.38 北海道北見 無肥料 自然農法 秋場和弥 18.3.27.

3月11日から16日まで、京都豆料理クラブ楽天堂さん主催のくるまざ座談会、そして津和野、萩、益田でスーパーの展開されているキヌヤさんへのバスデーチケットを乗り継いでの折笠さんとの旅、自然農法実践しながらの出会いと新たな決意のみなぎってくる日々でした。京都では高島さん夫妻がつみあげてられました豆ランチパーティーの底力身にしみました。豆料理をそして、人生を味わい分かち合う尽しの一束徹の在り方、出席者の皆様の日常生活に十分に反映されている事、津波の如く、肌身に感じる程押し寄せてまいりました。

丹波、綾部、奈良、浜松で荒れかかった農地を農業素人であった5組の若夫婦の方々が可能な限り環境に優しい方法で生産されようとしている御姿、そして豆料理を通じて志高くも、生活厳しい農民を支えようとされている皆様、純粋な気溢れ古き良き都、京都の一角を照らされてのだなと、つくづく実感させて頂きました。あわせて、妻と知り合うキッカケとなった、学生時代新聞販売店休みの時、初めて千葉の師の農場の田植えに訪れた際、抱いた感動、出会った方々をほうふつと思い出しました。



もうすぐ北海道も春です！

それは今日に到る妻との第二の人生の出発でもあったように思います。楽天堂さん主催のこの会合に、昭和の時代、知床ハッピー農園の時に知り合い、平成に入り丹波ハッピー農園を開いて南丹市で再び荒れ田蘇生に取り組まれている堀さん御夫妻と桜ちゃんが始めて出席されました。2000年暮と2001年春豆の流通を模索して、縁の糸に便って訪れ、サン・スマイルさん楽天堂さんに出会う直前、義侠心一極に、親切にお世話頂きました。究極の自然栽培の豆を通じて今回、一本の太い絆でつながっている皆様が一同に会わせた事、楽天堂さんに心から感謝。

純粋な輪(和)が更に開かれていく事、心から祈念しております。京都近郊の荒れた田畑を、住居、倉庫から機械までも再生して、自然栽培を実現している堀さんが会合の中で「自然栽培の尊さにめざました志高い消費者の中から、離農農家にある中古機械を修理してでも立ち上がる機運がないと、都市近郊の農家は農業に夢を持ってない、後継者不足で荒廃してしまう」と発言しておられたように、人、自然界も日本蘇生のカギは出席されていた皆様にあるのかも知れません。

さとうきびからのバイオエタノールによる車の燃料化が温暖化防止と南の島々の荒廃農地蘇生につながると、国の財政支援報道が2,3日前されておりましたが、都市近郊の荒れた田畑に対し、地球汚染防止と健康な野菜、米の生産普及につながるような前向きな支援あっても良い様な気がいたします。

悪戦苦闘の30年を経過し、ようやくそのトンネルをぐるり抜けた未来に向かう今の心境は、京都くるまざで申し上げましたように、キーワードは「健康」。私の出生許され、父母が自然栽培を始めた動機も健康解決の為でした。

しかしながら、土地購入資金の負債を抱えての結婚初年度からの全面積自然栽培も就農してから15年くらいは、除草剤万能時代、世間の畑には人がいない除草管理時期、朝日とともに、今程精密に発達していない除草機管理作業、及ばない株間は例え20町歩(6万坪)の面積といえども、手除草。

収穫機も資金不足の為、簡易な殆ど手労働。世間の農家は自動掘り取り、一切農協におさめて選別なしの時、夜 10 時~11 時くらいまで、自家選別と、夫婦若さにまかせてのガムシャラ労働で何とか乗り切れたものの、30 年もたちますと、かなりガタがきております。

特に負債償還も正念場のこの 6~7 年、師匠との約束を守りきろうと、志と共に経営は心中寸前、地力維持ローテーション作物の決め手、豆作付けの為、長年無農薬の土地 6 町歩貸与の伊藤さん、豆販売の堀さん、そして特にサン・スマイルの松浦さんのご努力で、全工場無添加施設の和菓子製造はら山さんはじめ豆料理クラブ楽天堂さん他様々な自然食品店さんとのご縁の連続で、天界からの師のご守護と、御恩を感じずにはおれませんでした。

しかし一昨年妻は過労が原因で、収穫機械にはさまれ、就農以来始めて一ヶ月の休養を余儀なくされ、私も昨年暮れから今年の正月にかけ、約 45 日の腰痛と悪戦苦闘。世間的には無暴ともいえる 30 年の在り方、世の人々の健康増進への貢献を目指し、科学、有機一辺倒の時代にあって、自然力こそ、真に人々の健康を作る作物生産の原点である事の市民権を頂きたいという想いに免じて、天の助けあったと想いますが、夫婦二人とも、自然療法の徹底取り組みで、元気回復する事ができた今こそ、この自然力による霊気活用が私達人類にとって真の健康管理をなさしめる要であるという事を実証していける清浄な生活行が今後私共夫婦に課せられていると感じてやみません。



秋場さんご一家

私達は 4 人の子宝にも恵まれ、忙しい中、子育て期間小学校の PTA の役員となって長男が BCG で熱を出し 2 1 日休まざるをえなくなったのを機に、保健担当に御配慮いただき、三種混合他一切の薬注射予防なしで、自然食で育てさせて頂きました。

しかし、健康管理の自然療法、師にしっかりと教わっていないがあまりの異常な忙しさに、子供が夜熱を出しても夜中から早朝まで、半分眠りながら取り組んで、昼は父母にまかす連続で残念ながら中途半端な納得いかないものでした。4 人ともなんとか成長し、今は雅楽、舞踏、自然栽培、自然療法と本当に納得いく学びを目指して努力してくれているのが私共にとってかろうじての救いです。

債務整理も山を越し、お借りしていた伊藤さんの土地返却し、ひたむきさに免じて現在元気で頂いている私共の今後の課題は、ほぼ世間なみの労働を基本に、如何にも夫婦での自然療法の取り組みを徹底して新陳代謝活発な健康体を作っていくかという事だと想っております。心底元気のありがたさを身にしみされ、夫婦して健康ピンチの背水の陣から立ち上がる事ができた現在。

ご縁を頂き交流が深まり周りの皆様に慕われている大事な方々には「まずは自らが元気でありつづけて頂きたい。その為の御夫婦の健康確立の要はお互い同志のしっかりとした自然療法の取り組みで実現可能です。」とおすすめている現状です。

健康こそ夫婦相互のしっかりとした絆を深め、世間のイヤな空気を吹き飛ばし改過遷善していける最重要キーワード、御理解頂き、語りかける事ができる皆様と一丸となってめざす事ができれば幸いです。

長女に初孫が産まれたこの良き日に。